

セントラルスポーツカップ 2012 東京・マラソンスイミングのエントリー区分の振り替え
および荒天対応に関するお詫び

公益財団法人日本水泳連盟
東京・マラソンスイミング実行委員会

さる 9 月 30 日に開催されました「セントラルスポーツカップ 2012 東京・マラソンスイミング」のエントリー区分の振り替えおよび荒天対応において、一部の大会参加者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。今回の課題・反省を踏まえ、今後、再発防止に向けて対策を検討実施して参ります。

記

1. エントリー区分の振り替え

本大会は、(公財)日本水泳連盟が主催するオープンウォータースイミング(マラソンスイミング)の公式競技大会であるため、本年度より、選手権の部につきましては、本連盟への競技者登録を確認する目的で、本連盟の競技者登録システム(WEB-SWMSYS)を活用してエントリー手続きを行いました。一方、一般の部につきましては、一般のWEBエントリーサイト(MSPO ENTRY)によるエントリー手続きを実施しました。

エントリー開始直後より、競技者登録完了者の方による「一般の部への誤エントリーおよび選手権の部への変更希望」の事例が多発したため、エントリー締め切り後、大会事務局にて、一般の部にエントリーされた全ての競技者登録完了者の方を「誤エントリー」と判断し、選手権の部に振りかえしました。この結果、自らの意思で一般の部にエントリーされた競技者登録完了者の方をも選手権の部に振り替える結果となりました。

本来であれば、区分の振り替えを行う時点で、該当者の方に意思確認をし、希望される区分で出場して頂く策を講ずるべきでありました。

2. 荒天対応

大会当日は接近中の台風 17 号への対応から、競技スケジュールの当日変更が多々発生しました。その可能性は事前に本連盟の URL にて告知をしておりましたが、当日の会場内の掲示・通告が徹底されず、多くの参加者の方々にご迷惑をおかけしました。

荒天対応の原則である、正確な情報伝達の徹底が不十分であったと認識しております。

3. 所感

新たなエントリー方法の導入および荒天対応に起因して、今回このような事案が発生しましたことは誠に遺憾であり、参加された皆様に心からお詫び申し上げます。発生事案を真摯に受け止め、次回大会への改善に取り組んで参る所存です。

以上